

われろ

@おくいずもん

中村若手会

布勢地区の「中村若手会」さんは、発足二〇年余の実績をもとに様々な活動を繰り広げ、地域の活性化に貢献されています。

現在は会長の福岡誠さん以下、11人のメンバーで、それまでの事業の継続に加え、独断と偏見に基づくユニークな事業まで幅広く活



動しておられます。

ゆるぎないチームワークの秘訣を伺うと、「飽きずに皆が楽しめる内容のプラン作りと実行」、そしてメンバーそれぞれの「持ち味」を尊重することだそうです。集会所には活動の記念写真がびっしり展示されており、実績をうかがわせます。



休耕地の除草・再生



門松の製作作業

大晦日には「おおつこもり」と称し、神社にごもり、初詣の村人を接待、正月を迎える行事を予定しているそうです。

今後も休耕農地の除草や地域の人のための備品づくり、子供たちとの交流会など多彩な活動をやっていきたいと意欲的に話されました。

今後ますますの「」活躍を期待します。

切り取り線

郵便はがき

6 9 0 8 7 9 0

579

料金受取人払郵便

松江中央局
承認

1884

差出有効期間
平成29年10月
19日まで

奥出雲町横田 1037

奥出雲町議会
議会広報特別委員会 行



切り取り線

編集後記

7月の参議院選挙は、鳥取・島根と徳島・高知の合区による初めての選挙が行われ、「一票の格差」とは何かを考えさせられました。合区解消を図るための選挙制度の改正を願うばかりです。

富山市議会では、政務活動費の不正受給により12人の議員が辞職に追い込まれました。第二の議員報酬といわれるこの制度は奥出雲町議会にはありませんが、こういった不正は同じ議会人として大変恥ずかしく、許されるものではありません。

さてこの度、奥出雲町議会でも初めてとなる議会報告会を町内9地区で開催しました。多くの皆様に参加して頂き、さまざまな意見・要望が寄せられ、「聴く力」を養うことができたことに感謝いたします。

(内田つねお)



表紙の写真

「すくすくうどんどうかい」